

関東ふれあいの道(千葉)①坂東太郎のみち

2022年5月17日池内淑皓

2022年(令和4年)3月6日(日)晴れ、北風強く寒い。昨年11月4日茨城県最後のウォークを終え、県境に架かる水郷大橋を渡って千葉県に入った。今年から千葉県コースを歩く事になる。

第一歩は利根川の土手道を11km。真つすぐ上流に向かって歩く単純なコースであるから、早々とゴールして、今回お目当ての、佐原小野川沿いに並ぶ蔵屋敷街散策と、伊能忠敬記念館見学を楽しむ事にした。折角ここまで来たのだから、泊りは佐原の町中の旅館に決めた。



関東ふれあいの道(千葉)コース全図 (首都圏自然歩道連絡協議会、以下同じ)

距離	風 州	所要時間	難易度	距離	風 州	所要時間	難易度
11.3 km	水郷大橋、利根川堤、神崎大橋、神崎の大クス、神崎神社	3時間20分	★	6.8 km	いずみ山公園センター、北条海岸、日生海岸、湯島一帯	2時間20分	★
11.4 km	神宮寺、常盤寺、常盤寺、小湊門前地の森、清見園(龍正院)	2時間20分	★	10.1 km	若船寺遺跡、若船遺跡、メキシコ記念公園、月の汐原	2時間30分	★
15.2 km	常陸観音(龍正院)、龍崎寺・古蹟群、歴史のむら	3時間40分	★	8.6 km	宮原寺、神宮打台、八幡神公園(神宮城跡)	2時間20分	★
5.8 km	印旛沼畔、甚兵衛渡し跡、甚兵衛の森	1時間30分	★	3.2 km	尾名浦、勝浦海中公園、帆原理想郷	40分	★
7.9 km	芝山に王塚、芝山古墳・はにわ博物館、龍塚・船塚	2時間25分	★	9.4 km	おせんころがし、誕生寺、鯛の浦、小湊海岸	2時間30分	★
8.6 km	山武杉の森、光明寺	2時間25分	★	7.9 km	内溝山泉園の森、清海寺⇒麻城寺高野	3時間20分	★
15.5 km	山北歴史資料館、伊能忠敬記念館、成東東急バス博物館、八景園	4時間20分	★	13.5 km	清澄山、元清蓮山のモミツガ林、金山ダム	4時間20分	★
14.8 km	八鶴池、日吉神社、龍蛇ヶ池	4時間30分	★	8.5 km	大津、ロッジ村、豊英湖	2時間30分	★
10.0 km	昭和の森、小中池	2時間30分	★	9.0 km	富岩山のニカンザル、善宮観音、石村太郎山	3時間20分	★
13.6 km	若生田代牧場の池、善福寺、善上人塚、善福寺の森、善福寺	3時間15分	★	17.7 km	石村太郎山、マザー谷、神宮寺、日暮神社、九十九郎塚	5時間40分	★
12.5 km	権根森、八重垣部神社、笠森観音	3時間10分	★	8.4 km	鯛月台、石切橋跡、観望台、磯山	4時間20分	★
11.3 km	常陸観音、長南町自然歩道、コートピア公園	3時間30分	★	14.2 km	常月観音(龍正院)、有明院(新法門)、八幡神社、浅間山公園	3時間30分	★
3.5 km	報恩寺、西光寺、法隆古墳群、扇浦寺古墳	2時間25分	★	8.3 km	酒宮水門、印旛沼畔、甚兵衛渡し跡	2時間30分	★
11.3 km	龍宮神社、一言町池の森、別荘跡、常盤川山藤敷群	2時間50分	★	7.3 km	光明寺、渡切不動・石塚の森、成東城跡公園	2時間20分	★
11.9 km	大東跡、大東増打台、大東海浜植物群落	3時間10分	★				

同、千葉県全コース行程表(距離と時間と難易度)



3月6日(日)の天気図、典型的な西高東低の冬型気圧配置で、風強く寒い



関東ふれあいの道(千葉)①坂東太郎(利根川)のみち 案内板



「①坂東太郎のみち」概念図(11.3km・3時間コース)



今日の鉄道最寄り下車駅は成田線「佐原駅」



素敵な駅舎に仰天した。佐原は国選定 重要伝統的建造物群保存地区指定を受けているからだろう。



駅前ロータリーに建つ伊能忠敬銅像。江戸時代精密な日本国の地図を作製した、伊能忠敬の町でもある



まずは坂東太郎の道を歩かなければならない、大戸川運河に沿って、今日のコース出発地点に向かう



水郷大橋袂が今回の出発地点、案内板も設置されている



「水郷大橋」茨城県と千葉県を結ぶ全長 535mの斜長橋で、坂東太郎を跨ぐ



「坂東太郎」 関東地方で一番大きな川と言う意味。飛鳥奈良時代は吾妻と言われ、中世は坂東と呼称され、近世は関東と呼ばれている広大な関東平野全域を指す。



坂東太郎とは利根川を指し、箱根の坂から東、碓氷峠の東を坂東と呼んだ。群馬、新潟県境の越後山脈を源として322km下り、太平洋に注ぐ日本第二位の大河。支流の数は815本を数え、神奈川県を除く一都五県を流れる。流域面積は16,840km²で四国地方全土の80%の広さに相当し、全国一の耕作面積を有する。



江戸時代は江戸湾に注いでいたが、徳川幕府は洪水を防ぐために、東に川を付け替え、太平洋に流した。



今日はあまりにも北風が強いので、土手下の集落を継ぐ道を歩く事にした。



各集落には必ず水神様が祭られている。水を恐れ、水の恵みに感謝しているのだ



川尻集落の水神様はお堂が囲われている、お堂飾りの保護かな



高谷の集落は、二つの水神様が並んで祭られている



神崎大橋の赤いアーチが見えてくれば、ゴールは近い



橋の手前に道標を見つけた、道標に従って土手を降りて神崎神社に向かう



道の辻つじに道案内があるから、迷わず歩ける



「神崎神社」天武天皇の時代(673-686)創建と伝える。永い間神域とされたため森全体が自然に保たれ、神崎の森として県の天然記念物に指定されている



「神崎神社の大楠」国指定天然記念物に指定されている。主幹根回り13m、高さ27m。明治40年の火災で類焼



JR 下総神崎駅到着。13:05 の電車で佐原に戻る



お腹が空いた！お目当てのお蕎麦屋さん(小堀屋本店)に直行、創業は天明二年(1782)。



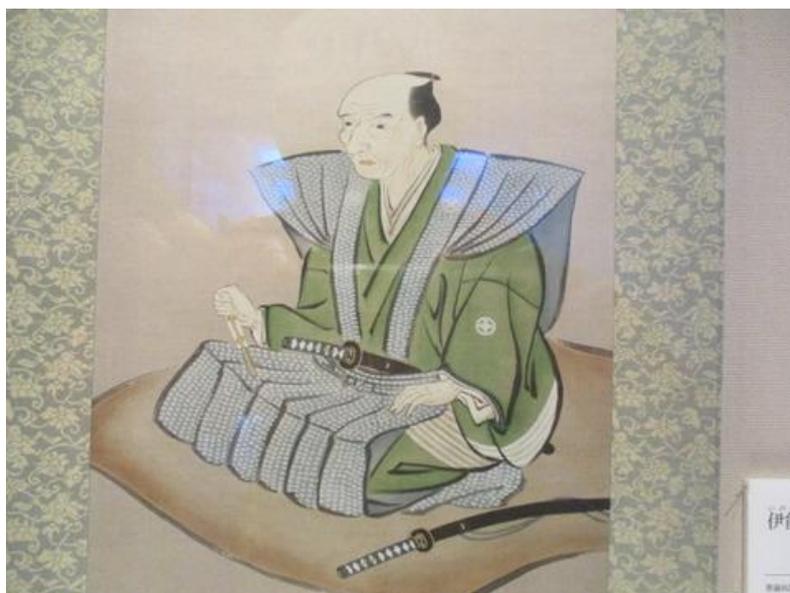
東日本大震災で甚大な被害を受け、屋根が落ち、壁が剥がれる災害を受けたが、1年半の修復期間を経て営業再開となった



「伊能忠敬旧宅」 17歳で伊能家に婿入りして49歳で隠居するまで、家業の隆盛に尽力した。



「伊能忠敬記念館」旧宅の川向に記念館がある。大日本沿海島輿地全図は世界的に有名な日本地図である。伊能忠敬の関係資料1,345点は国宝に指定され、記念館に収まる。



「伊能忠敬」49歳で隠居して、50歳で江戸に出て天文学・測量の勉強を始める。



55歳で初めて蝦夷地の測量を行い、その正確さと精密さに幕府は仰天。即幕臣となり御用旗を掲げて全国を測量する。71歳まで測量した距離は、地球一周に及ぶ。



歩いた地名と方位が精密に記述されている（以上伊能忠敬記念館展示品を撮影）



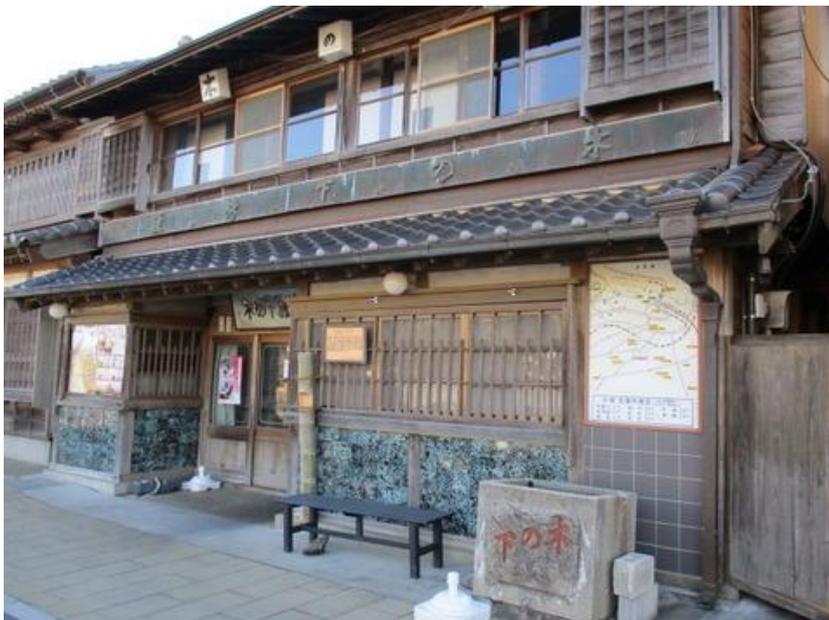
「佐原水郷蔵屋敷街」利根川に繋がる小野川沿いに蔵が連なる。
この辺り一帯は、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている。



数々の火災、天災を免れて、ここまで建物を維持してきた地元の方々に敬意を表する



コロナ蔓延防止期間中であつたが、人出は多かつた。



お目当ての木下旅館、残念ながら休業中



「上州屋酒店」 ここで地ビールを買い込んで、川端で友と酌み交わす



「長谷川うなぎ割烹料理店」 残念ながら休業中であつた

[参考タイム] 佐原駅(9:15)→水郷大橋(9:45-9:50)→飯島水神宮(10:25)→川尻水神宮→(11:30)
→神崎神社(12:35-12:40)→JR 下総神崎駅(13:03)

この項完

関東ふれあいの道(千葉)「②自然と歴史をたどるみち」に続く